

畑副会長による団結がんばろう



賃上げで、 景気の底支えを!

2015 春季生活闘争1万人総決起集会を開催



畑副会長(電機連合)



清水副会長(自治労)



永谷執行委員長
(JAM 橋本電機工業労働組合)



大矢女性委員(情報労連)

決意表明を行う構成組織代表者

3月1日、雨天のなか連合愛知は名古屋・栄の久屋大通公園久屋広場において「賃上げで、景気の底支えを!『休み方』『働き方』改革で長時間労働撲滅!」をスローガンに、「2015春季生活闘争1万人総決起集会」を開催した。

これからヤマ場を迎える2015春闘において、要求実現と機運の盛り上げなどを図るために行われたこの集会には、土肥会長をはじめとする連合愛知三役、構成組織からの参加者など、約1万人の参加が

あった。

会に先立ち、青年委員会・女性委員会によるシュプレヒコールにより会場を盛り上げたところで、各構成組織の旗手登壇が行われ集会がスタートした。

会長あいさつ、大塚民主党愛知県連代表あいさつに続き、4人の代表の決意表明の後、大久保(彰)副会長が読み上げた「集会アピール」を参加者の総意で採択した。

続いて、第18回統一地方選挙にむけ、可知青年委員会副委員長が読み上げた必勝特別決議が採択されると、永井連合愛知政策推進議員懇談会代表幹事による決意表明が行われた。

最後に畑副会長によるがんばろう三唱で、会場の組合員は傘を大きく突き上げながら応え、春闘勝利への意志固めを行った。

その後に予定をしていたデモ行進と街頭宣伝行動は雨天により中止となった。



特別決議を読み上げる
可知青年副委員長



雨天にもかかわらず埋め尽くされた会場



永井議員懇代表幹事による決意表明

会長あいさつ

- 1 賃上げこそが成長の原点である。
- 2 人間らしい・働きがいのある仕事のために環境づくりと意識改革をめざす。
- 3 働く者が犠牲となる制度の上に立つ経済成長はありえない。
- 4 労働法制改悪阻止の取り組み等に力を結集する。
- 5 私たちの声を政治・地方行政に届けるため、統一地方選挙の必勝を期す。

今春闘では「月例賃金の引き上げ」「労働時間短縮」「政策・制度の実現」の3本の柱を掲げ、「格差是正」「底上げ・底支え」「デフレからの脱却」「経済の好循環」を果たすため、組織の全精力を傾け取り組んでいく決意と認識をこの集会で確認する。

いま経営側では「デフレ脱却」「経済の好循環」に対する認識は持っているものの、組合要求に対して、厳しい態度を示している。今の日本社会の現状を打破するためにも、従来の考え方から抜け出し、一歩前に進める対応を強く求めたい。

また、加盟組合が取り組んでいる交渉結果が個別企業のみならず、すべての働く者や中小企

業や非正規労働者へ波及、法定最低賃金さらには公務員労働者へ波及させることが重要と考える。

会長あいさつ



いま国会で審議されている労働者保護ルールの改悪に対しては、社会を構成する労働組合が働く者の声を発し、世論を喚起する運動に取り組んでいかねばならない。

昨年12月の第47回衆議院総選挙では、愛知県においては小選挙区・比例を含め10名の衆議院議員を私たちの代表として選出いただいた。皆さんの取り組みに改めて感謝申し上げます。4月の統一自治体選挙には連合愛知として組織内62名、組織外60名合わせて122名の推薦を決定した。推薦候補者全員の当選にむけ、連合愛知一丸となって取り組んでいく。

この集会では今一度、労働運動・労働組合の役割を認識し2015春闘を生活者・納税者すべての働く者の運動として取り組んでいこう。

ともに頑張りましょう。



大久保(彰)副会長による
集会アピール

連合愛知1万人総決起集会アピール

連合愛知は、本日ここに「賃上げで景気の底支えを!『休み方』『働き方』改革で長時間労働撲滅!」をスローガンに、2015春季生活闘争1万人総決起集会を開催した。

政府は、日本を「世界で一番企業が活躍しやすい国」とすることを掲げ、強いものをより強くすることで成長をめざすトリクルダウン型の政策を進めている。しかし、その恩恵は多くの働く者の家計や社会の底辺へは波及していない。それどころか、非正規労働者や低所得者層は増え続け、中間層の減少と格差の拡大は、社会の安定成長の基盤を損なう状況を招いている。政府内では、「成長戦略」の名のもとで労働者保護ルールの改悪を推し進めようとしている。労働者保護を後退させ、格差社会を拡大するこうした動きに、私たちは断固反対する。「働くものを犠牲にした経済成長」は絶対に許してはならない。持続可能な経済成長を

成し遂げるためには、私たちが目指す「働くことを軸とする安心社会」の実現が必要不可欠である。

昨年の春闘では、すべての組合が月例賃金にこだわり闘った結果、長年一定の水準にはりついてきた賃金水準の引き上げをはかることができた。2015春闘では、引き続き「底上げ・底支え」「格差是正」の実現を通じ、「デフレからの脱却」と「経済の好循環実現」に向けて、賃金の引き上げを実現しなければならない。とりわけ、大手と中小の賃金格差の是正や、未組織労働者も含めて広く社会全体の底上げ・底支えの実現をめざす。加えて、ディーセント・ワークや全員参加型のワーク・ライフ・バランス社会の実現に向けて、こだわりをもって総実労働時間の縮減に向けた取り組みを加速しなければならない。

私たちは、「賃上げ」「時短」「政策・制度」の3本柱の取り組みを掲げ、すべての働く者の連帯で生活改善・格差是正に全力で取り組み、「安心社会」を切り拓いていくことをここに宣言する。

2015年3月1日

2015春季生活闘争連合愛知1万人総決起集会

地域の活性化には地域の中小企業の活性化が不可欠！

地方連合会初！春闘地域フォーラムを開催

連合愛知は連合の春季生活闘争方針を受け、3月1日に栄ガスビルにおいて「2015春季生活闘争 連合愛知地域フォーラム」を開催した。

全国地方連合会に先駆けて行われたこのフォーラムには、構成組織・経営者団体・愛知県・議員懇談会・報道関係者より210人が参加した。

冒頭、主催者を代表し土肥連合愛知会長からは「春闘の役割や地域・地場の中小企業が抱えている課題等について議論し、皆さんと一緒に勉強していきたい」と



パネルディスカッション

挨拶があった。

続いて「我が国の持続的な成長を成し遂げるために地域・地場の中小企業の活

会場風景



性化がカギ」と題し、内田俊宏中京大学経済研究所研究員より「業況感の改善は大企業中心で、中小企業との格差が常態化していること、経済の好循環を実現させるには中小企業や非正規労働者を含めた賃金引き上げがカギ」との課題提起が行われた後、内田氏をコーディネーターに、加藤愛知県中小企業家同友会代表理事、森岡愛知県副知事、大塚民主党愛知県連代表、神津連合事務局長をパネリストとして迎え、中小労組や中小企業が抱える課題についてパネルディスカッションを行った。

一人ひとりの善意が大きな善意へ

第23回「連合愛知助け合い運動」によるカンパ金寄託式が行われる

連合愛知は2月25日、愛知県社会福祉会館において「連合愛知助け合い運動カンパ金寄託式」を行った。

「連合愛知助け合い運動」は、連合愛知構成組織の協力を得て集められたカンパ金36,104,955円を愛知県共同募金会に寄託し、民営小規模施設等整備費や在宅福祉サービス関連車両整備費、就職支度支援事業などに役立てられている。1992年に始まった助け合い運動は本年度で23回目を迎え、これまで連合愛知が愛知県共同募金会に寄託したカンパ金の総額は、9億61万円となった。

冒頭、連合愛知・愛知労福協を代表したあいさつで土肥会長は、「本年度も連合愛知助け合い運動の一環として募金活動を実施し、組合員さんの理解のもと集めさせていただいた。愛知労福協では、労金、全労済、住宅生協、基金協会、愛知労福協の事務所にそれぞれ

募金箱を設置し、訪れたお客様に周知をさせていただき展開してきた。それぞれの寄付金を愛知県の社会福祉事業の一助にさせていただきたい。」と述べた。

続いて、今回集まった連合愛知の寄付金36,104,955円と労福協の寄付金をそれぞれ愛知県共同募金会の岡谷会長に寄託した。

岡谷会長からは、「中小では大変厳しい状況の企業も多い中で多額のご寄付をいただき、皆様の活動に大変感謝する。今後社会福祉や就職する児童のために有効に活用していきたい。」とお礼が述べられた。

構成組織・組合員の皆さまのご理解・ご協力に深く感謝申し上げますとともに、今後ともご協力をお願い致します。



愛知県共同募金会の岡谷会長(左)に目録を手渡す土肥会長



愛知県共同募金会の岡谷会長より感謝状を受け取る愛知労福協・小林事務局長

すべての働くものの底上げを！

平成26年度第2回愛知労使懇談会を実施

連合愛知は、2月3日にメルパルクNAGOYAにおいて愛知県経営者協会との「平成26年度 第2回愛知労使懇談会」を開催した。

冒頭のあいさつで、土肥 連合愛知会長は「経済・社会情勢の課題は、都市部と地方、大企業と中小企業、正規と非正規、様々な格差問題について考えなければならない。2015春闘については連合要求方針を伝え、一時金の対応ではなくベースアップを実現するため月例賃金にこだわる」と主張した。

清水 経営者協会会長からは「経済の好循環の流れを定着させるために、賃金の見直しができる企業にお

いては積極的に賃金の引き上げに向けて、経営側に働きかけていきたい。」との挨拶を受けた。しかしながら、意見交換の中で経営者側からは、月例賃金ではなく年収ベースでの引き上げで考えているとの意見もあり、労使の主張に隔たりもあった。

連合白書・経営労働政策委員会報告について主要課題の説明・意見交換を行った後、平成27年度労使共同研究テーマである『「仕事と介護の両立」に向けた環境整備について』と、労使共同事業「高校生のための出前講座」の平成26年度の実績報告について説明があった。



働く仲間からの相談が寄せられる

「解雇・雇い止めトラブルなんでも労働相談ダイヤル」を実施

連合の全国一斉労働相談ダイヤルの実施に伴い、連合愛知は2月12日から3日間にわたって「解雇・雇い止めトラブルなんでも労働相談ダイヤル」を実施した。

今回は、連合愛知の11の地域協議会役員が相談役となり、雇用契約、解雇問題、退職、賃金・一時金等、働く仲間からの相談を受けた。

また、初日となる2月12日は、愛知県下11ヶ所の駅頭で早朝街頭宣伝行動を一齐に実施するとともに、新聞等を通じて宣伝活動を



街頭宣伝行動の様子(知多地協)

労働相談ダイヤルの様子
(尾張中地協)



実施したほか、テレビ等のマスコミの取材も行われた。今回のキャンペーンには201件の相談があり、雇用契約、解雇問題、退職、賃金・一時金等の多くの相談が寄せられた。

連合愛知は、今後も「労働相談ダイヤル(0120-154-052)」などにおいて、すべての働く仲間の不安や悩みに応えるとともに、組織化を含めて助言や支援を続けていく。

あなたの職場で働くすべての人と家族の
こころの相談室

心の相談室

電話相談

専用電話

052(618)7831

月/15:00~19:00 水/12:00~19:00 金/16:00~20:00
※祝祭日を除く。相談料は無料ですが、電話料は相談者負担となります。

面接相談

場所/ (社) 日本産業カウンセラー協会中部支部
※事前の予約が必要です(1回の面接時間は1時間以内)。2回目までの相談は無料で、3回目以降は1回当たり1,000円を相談者に負担して頂きます。

第5回 執行委員会 2015年2月24日

確認事項

1. 当面の日程について
2. 2015年度連合愛知年間大日程の一部変更について
3. 構成組織の組織拡大について
4. 2015春季生活闘争 連合愛知1万人総決起集会 アピール(案)およびシュプレヒコール
5. 第18回統一地方選挙必勝決議(案)
6. 連合第5回政治アンケート調査への取り組みについて
7. 特定(産業別)最低賃金改正の申し出意向表明について
8. 愛知労働局との懇談会について
9. 愛知県中小企業団体中央会との懇談会について
10. 愛知県商工会連合会の懇談会について
11. 愛知中小企業家同友会との懇談会について
12. 2015春季生活闘争 連合愛知地域フォーラムの開催について
13. 2015年度 愛知労使共同事業「高校生のための出前講座」に向けた講師登録・変更について
14. 2015連合平和行動の派遣について
15. 2015メーデーについて (vol.2)

議 事

1. 各種審議会・委員会等への派遣について
2. 第47回衆議院選挙総括(案)
3. 第18回統一地方選挙推薦候補者の取り消しについて
4. 第18回統一地方選挙に伴う候補者推薦(第11次)について



21 エコアクション 節電のススメ 冬のヒント

待機電力を減らそう! 家庭の消費電力量 4,734kWh/年・世帯

待機電力とは、電源の切れている状態(待機時)でも、コンセントに接続されていることによって、消費される電力のことです。なんと、家庭における年間電力消費量の約6%を、この待機電力が占めています。つかわない機器のコンセントを抜いたり、スイッチ付きテーブルタップを活用することで、無理なく節電ができます。

待機電力削減率 6.0%

消費電力削減率 94.0%

<http://www.rengo.org/> **エコアクション21**

ZENROSAI 7E7E

この安心を、
家族の成長とともに。



こくみん共済

全労済

保障のことなら

全労済

全労済は、営利を目的としない保障の仕組みとして共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。お言葉をください。お言葉をお返しにさせていただきます。

第86回愛知県中央メーデー

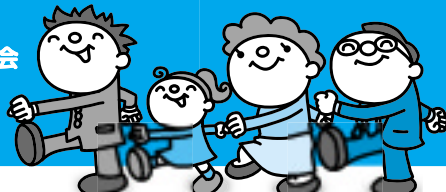
日時 2015年4月18日(土)
(集 会) 10:00~11:20
(イ ベント) 9:30~12:30

会場 久屋大通公園・久屋広場

※イベントでは連合愛知の活動紹介コーナーや、青年委員会による戦後70周年を迎え平和について考える「原爆展」、NGOや世界寺子屋名古屋実行委員会の活動紹介や被災県の物産物販売コーナーなど、家族で参加していただける内容を盛り込んでいます。特に今年はオープニングに、愛知県で活躍する「愛知琉球イサータ鼓連」を迎え開催します。ご家族お誘いの上、是非ご来場ください。

主催: 第86回愛知県中央メーデー実行委員会
TEL052-684-0005

共催: 愛知労福協



地 協 紹 介

豊橋地協

こんな活動やっています！

防災研修会

昨年5月末の二日間、阪神淡路大震災に学ぶ「防災研修会in神戸&淡路」を開催。南海トラフ大地震が想定される中、防災・減災対策が大きな課題となっている今

日(こんにち)、今回訪れた二つの施設では自然災害の恐ろしさを肌で感じることができ、大変有意義な研修会となりました。



神戸「人と未来防災センター」



淡路島の「北淡震災記念公園・野島断層」

第8回夏休みふれあいコンサート

8回目を迎えた今年の特徴は、テレビなどでおなじみの「スギテツ」とのコラボレーション。第1部「ど

こかで聴いたことのあるクラシック」第2部「『スギテツ』と楽しむクラシック音楽～百聞は実験にしかず」と銘打っての公演となりました。HPや新聞でのPRが効いて、今年も多く的一般市民が参加してくれました。



予定より早く開場して、続々と入場する皆さん



プログラム

第47回衆議院選挙

助走も全くなしの突然の解散総選挙となりました。候補者が決まったのが公示日2週間前。そこからの選挙ですから大変です。安倍政権の暴走にストップをかけるべく地協も総力を挙げての闘いとなりました。特筆すべきはポスティング。選挙戦の序盤でマスコミによって明らかにされたのは「政権与党300議席を越す勢い!」。これに発奮して、休日を含め短期間で三役組合の皆さんによってなんと6万枚の民主号外を配布仕切りました。結果は残念でしたが、36歳の新人にかける期待は大きく、今後の課題を共有化して進んでいくことを決意しました。



開選対の中核を果たした豊橋地協

田原市長選挙で北野谷氏と政策協定調印

第18回統一地方選挙で執行される田原市長選挙について、鈴木現市長の後継者に指名された北野谷一樹氏との間で政策協定を結びました。北野谷氏からは「公契約条例の制定を含む地協の政策実現に向けて努力していく」との決意を承りました。

協定書に調印する林代表&北野谷氏

